

物流情報の専門紙
～おかげさまで40年～

カーゴ

第3791号
2009年(平成21年)4月16日
毎週火・水曜日発行
昭和44年11月28日
第三種郵便物認可
<http://www.cargonews.co.jp>
info@cargonews.co.jp
sales@cargonews.co.jp

○発行所 梅力ーコ・ジャパン
郵便番号 102-0022
電話番号 03(5711)2100
○印刷人 F. G.
○販売元 03(5711)2100
○発行部数 3月 15,750部
○販売部数 3月 31,950部
○定期購読料 1年 5,300円
○定期購読料 3年 10,600円
○連絡先 三澤出版行六本木町10226 梅力ーコ・ジャパン六本木町10226 (株)カガシカン



15万km交換不要のエコオイル、タクシー大手にも導入広がる

オフト トランク分野に続き、国際興業大阪が本格導入を検討

15万キロメートル交換不要の100%化学合成エンジンオイル「エコマーベラスマоторオイル」を販売するオフト(本社・東京都文京区、森川正社長、電話03-5842-3833)はこのほど、タクシー大手の国際興業大阪が同オイルを導入したと発表した。昨年10月から新車3台、使用中の車両(平成17年式)3台の計6台にエコマーベラスマotorオイルを導入して経過を観察してきたが、導入から半年が経つてもオイルの劣化が見られず、交換の必要がなかつた。国際興業大阪では、グリーン経営の面から廃オイルの削減などに取り組んでおり、今回の試験導入の結果が良好だったことから、今後はタクシーでの大量導入に加え、バス車両などの導入についても検討していく。オフトは約6年前から石油類を一切含ま

ない100%化学合成オイルの国内販売をスタートし、主にトランク車両を中心に導入を図ってきた。07年11月には米国の化学オイルトップのセーベラス社との業務提携が実現、大量生産に対応できる体制を確立するとともに、約30社で構成される代理店組織「オフト・マーベラス会」をつくり、販売体制も強化している。

これまでにトランクだけで2500台を超える車両に同オイルを導入してきたが、用途先は「自動二輪車や自動車類、建設車両、船舶から発電機まで幅広く、今後はトランクだけにとどまらない広範な販路を構築していきたい」(尾島幸也専務)としている。今回のタクシー分野での導入についても「業界大手である国際興業大阪さんが本格導入に踏み切つていただければ、タクシー業界内での広がりが期待できる」(同)と語る。

エコマーベラスマotorオイルを導入した場合、従来オイルと比べて初期費用は高くなるものの、約3000キロメートル走行するごとに交換が必要になる従来オイルに比べランニングコストがかからないため、大幅なコストメリットがある。例えば、エコマーベラスマotorオイルを4ドリップ使用した場合、15万キロメートル走行までにかかるコストは3万6400円(うち初期費用は3万800円)であるのに対し、従来オイルでは9万8600円かかる。このほか、エンジン性能が向上することで燃費向上も期待できるほか、廃オイルの削減につながることで環境負荷軽減につながるメリットもある。